

## 令和元年度 動物愛護相談センター—動物由来感染症調査結果

(令和2年1月31日現在)

## 1 犬と猫の寄生虫調査

- (1) 検体採取期間 平成31年4月から令和2年1月まで
- (2) 対象及び規模 犬 17頭(延べ検体数19)、猫 39頭(延べ検体数57)の糞便  
犬 8頭、猫 18頭の虫体
- (3) 方法 直接塗沫法及び飽和食塩水浮遊法による糞便中の虫卵の同定  
解剖検査による心臓内及び消化管内における虫体確認と同定
- (4) 結果

## 糞便検査(虫卵)

対象 (延べ検体数)	陽性 頭数(%)	内訳		
		回虫(%)	イソス <sup>o</sup> ラ属(%)	条虫(エキノコックス含む)、鞭虫、鉤虫等 (%)
犬 17頭 (19 検体)	0頭 (0.0)	0	0	0
猫 39頭 (57 検体)	7頭 (18.0)	4頭 (10.3)	2頭 (5.1)	1頭 (鉤虫) (2.6)

## 解剖検査による虫体確認

体	陽性 頭数(%)	内訳		
		回虫(%)	条虫(エキノコックス含む) (%)	鞭虫、鉤虫等 (%)
犬 8頭	0	0	0	0
猫 18頭	3頭(16.7)	2頭 (11.1)	瓜実条虫 2頭 (11.1)	0

## 2 犬と猫の SFTS (重症熱性血小板減少症候群) ウイルス遺伝子モニタリング調査

- (1) 検体採取期間 令和元年5月から令和元年12月まで
- (2) 対象及び規模 犬 8頭の血清、唾液、猫 20頭の血清、唾液
- (3) 方法 リアルタイム PCR 法によるウイルス遺伝子の検出  
検査は、東京都健康安全研究センター微生物部ウイルス研究科に依頼
- (4) 結果

	血清			唾液		
	検体数	陽性数	%	検体数	陽性数	%
犬	8	0	0.0	8	0	0.0
猫	20	0	0.0	20	0	0.0
計	28	0	0.0	28	0	0.0

### 3 狂犬病ウイルス検査のための、安全で簡便な検体採取方法の検討

- (1) 検体採取期間           平成 31 年 4 月から令和 2 年 1 月まで
- (2) 対象                    犬 2 頭、猫 9 頭
- (3) 方法                    脳摘出と鋳型を作成
- (4) 結果                    脳モデル作成と脳の構造理解の促進

(助言・指導：狂犬病臨床研究会および国立感染症研究所獣医科学部)